



↑急がれる安全対策

Q 避難場所は安全か

道丹 報昭 議員

A 安全対策の向上を図る

市長

Q 今年、台風が過去最多の10個上陸し、また、新潟県中越地震が発生し、多くの人が被害を受けている。江田島市の災害対策が気になります。

A 建物の内、耐震構造になっているのは何か所あるか、定員は何人を見込んでいるのか、震度7程度の地震をシミュレートした被害想定をしたことがあるのか。避難場所の耐震構造等災害対策に取り組むべきと考えるが。

Q 安全対策は、市民が安全で安心して暮らせることを基本と認識している。地域防災計画の中で106か所を避難場所に指定している。教育施設等(38か所)では、11か所が耐震基準に適合している。未対策の施設につ

いても耐震調査を実施し、安全対策を進める。全職員を対象に災害の対応と能力の向上を図る。

Q 各支所の機能は発揮されているか

太刀掛 隼則 議員

A 職員不足を全所員でカバー

市長

Q 支所の職員配置はどうか。現状で機能が発揮できるか。

じる。

Q 支所長の職務権限を聴く。

A 有能な人材を配置している。全所員で対応している。サービスが低下しないよう最大の努力をしているが、総合的に考えれば職員不足を感じる。

A 迅速な事務処理を願って権限の移譲を行っている。300万円以下の事業は支所に対応できる。

Q 各支所の遊休施設をいかに活用するか。

A コミュニティの場として有効利用を図る必要があると考えている。

Q 元江能広域事務組合庁舎・可燃ごみ焼却施設をどうするか。

A 建物の解体費等が莫大な費用となるので、財政状況と建設計画の整合性を検討する。焼却施設は解体し、古紙リサイクル・ヤードとして整備活用を図る。



↑住民サービスは大丈夫ですか

Q 財政難での新庁舎は必要か

鎌田 哲彰 議員

A 検討委員会を設置し、慎重に協議を

市長



↑仮本庁舎(旧能美町役場)

Q 新庁舎の必要性は十分に協議されていない。

A 現在の1丁社会の構築を考えると、何も一極集中の必要性はない。合併特例債は、国が全額くれるのではない。無駄な箱物は、造るべき

ではないと考えるが。

A まさに国・地方を通じての財政危機を迎え、シンボリックな新庁舎は、財政が許す範囲内で最低限度のものが必要と考えるが、新市建設計画に盛り込んだ

総額36億円も具体的には定まっていない。

住民主体のハード面が大事であるので、早急に議論をする機関を作りながら、財政面でがっちりとしたものを策定すべきであると考えてる。

Q 江田島市の交通アクセスは

扇谷 照義 議員

A 関係機関と協議し、利便性の向上を図る

市長

Q 呉市や広島市に行くための交通アクセスについて、大柿町民は、大変不便を感じています。大柿町大君から柿浦経由で秋月を通る船便を考慮していただきたい。

現在、呉市に通勤する船が無くなると聞いています。新しく呉市へ行く船便を。

また、バス便も大柿町から呉市や広島市に直行する便を考えてください。

A 船便についてもバス便にしても、アクセスが悪いと思います。関係者や住民ともよく話し合っ、バス便や船便運送関係者と協議し、よりよい路線ができるように

考えます。利用される市民とも協議をしまして、利便性を考えていきます。



↑活用できないか。呉方面への通勤船